

第1回

常磐公園の緑を考える集い

～市民協働による公園管理～



I はじめに

1) 目的

平成27年度に市民ワークショップを経て旭川市が策定した「常磐公園植栽計画」にも位置づけしている市民協働による維持管理を実践していくため、常磐公園に適した維持管理の規定や手法を旭川市と市民が共に検討していくことを目的としています。

今回は、検討にあたり常磐公園の背景や現況を知ることが目的としています。



2) スケジュール【予定】

平成28年度

第1回

○現在の常磐公園について

今回

第2回

○秋期自然環境調査・これからの常磐公園の管理

第3回

○自然環境調査報告・これからの常磐公園の管理

平成29年度～

○春夏自然環境調査・これからの常磐公園の管理

○市民協働による維持・管理の実践内容

3

3) 本日のプログラム

・ 14:00 開会・あいさつ (5分)

・ 14:05 オリエンテーション (5分)

・ 14:10 資料説明 (15分)

・ 14:25 現地視察 (40分)

・ 自然更新ゾーン

・ 緩傾斜整備部の植栽

・ 代表的なブッシュ設置候補箇所

・ 現在の維持管理やボランティア

・ 15:05 意見発表 (20分)

・ 15:25 今後の予定 (5分)

・ 15:30 閉会

現在

4

Ⅱ 常磐公園の概要

1) 常磐公園の諸元

- 公園種類：総合公園
- 面積：15.85ha（東京ドーム3個分）
- 開設：大正5年5月1日（市内で最も古い）
- 施設：自由広場、千鳥が池（水辺デッキ）、白鳥の池、プール、軟式テニスコート、遊戯広場、管理事務所、石碑、野外彫刻
- 建物：道立美術館、中央図書館、公会堂

- 利用状況：30代40代の利用率が高い。職業別では、主婦（子供連れ）の利用率が高い。60代以上の利用頻度が高い。
- 利用目的：20代30代はイベント利用が多い。60代以上は施設利用が多い。

■日本の都市公園100選に選ばれた、市民に親しまれ歴史ある公園



5

参考) 都市公園の種類と機能

○都市公園の種類と求められる機能

	名称	規模（間隔）	求められる機能
近隣の公園	街区公園	0.25ha（250mに1箇所）	オープンスペース・緑陰・休息・遊び・安らぎ
	近隣公園	2ha（500mに1箇所）	
	地区公園	4ha（1kmに1箇所）	
都市基幹公園	総合公園	10～50ha	オープンスペース・休息・緑陰・レクリエーション・防災・運動
	運動公園	15～75ha	
大規模公園	広域公園	50ha	オープンスペース・休息・緑陰・レクリエーション・防災・大気浄化・修景
	国営公園	300ha	
	レクリエーション都市	1000ha	

常磐公園は、**総合公園**に該当する。総合公園としては、他に春光台、神楽岡、忠和公園（市内）がある。

6

参考) みどりの果たす役割

○常磐公園のみどり（樹木）に求められる機能

■安全性

倒木や落枝の危険性の除去、死角や暗がりの回避

■快適性

みどりに親しみ公園を利用できる機能、安らぎを得られる心地よい場所

■景観

景観を創る樹木や草花の生長に合わせた更新

■生態系

自然とは異なった公園という環境の中での生態系

参考) 常磐公園 開園100年

○常磐公園は本年度で開園100年をむかえます。

開園100年を記念しまして様々なイベントを実施中です。

・記念パンフレットの作成

今回皆様にお配りしたもので、常磐公園の歴史等を紹介しております。

・パネル展示

中央図書館で9月1日より常磐公園に関するパネルを展示する予定です。

・座談会

常磐公園に関する座談会を、有識者を招いて開催する予定です。（詳細未定、こうほう等でお知らせします。）

Ⅱ 常磐公園の概要

2) 常磐公園改修事業

中心市街地の活力向上のため策定された「旭川市中心市街地活性化基本計画」にて「文化芸術ゾーン」として位置づけされた常磐公園は、その魅力を高め、賑わいの創出を図ることが求められるようになってきたことから、多くの市民が集まるよう再整備を行う「常磐公園改修事業基本計画」を策定しました。

主な改修内容

- 東側エントランスや図書館等施設周辺の再整備
- 多目的広場の再整備
- 公園内にサイン配置
- 常磐公園と河川空間の一体化（緩傾斜化）

視察
POINT



河川堤防の緩傾斜化を行うことにより、多くの樹木が整理されることから生態系や景観の変化等を懸念される声を数多くいただきました。

9

Ⅱ 常磐公園の概要

3) 常磐公園自然環境調査

平成25年～26年の1年間で自然環境調査を実施しました。

詳細な実施結果や調査経過は

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/440/449/kouen/p004755.html>

を参照ください。

調査結果から見る常磐公園の特徴

- 植物のみで見ると確認種における外来植物の割合は30.1%と高い値を示している。加えて外来種（特定外来生物、要注意外来生物）の確認も比較的多い。
- 現在みられる大木は、樹洞や樹幹が多くの動物の重要な生息環境および営巣環境となっている（樹洞で繁殖する鳥類、樹洞をねぐらにするヤマコウモリ、大木を食草とする昆虫類）
- 街中にある都市公園であるため、林床は芝生や裸地など頻繁な管理が行われている。

10

Ⅱ 常磐公園の概要

4) 常磐公園自然環境調査の予定

常磐公園の改修事業完了後の環境調査を行い、環境の変化を把握するとともに、常磐公園の維持管理の手法等を検討する際の資料とするため平成28～29年度の1年間、再度自然環境調査を行います。

調査のスケジュール

- ・平成28年度 ～ 秋調査・冬調査
- ・平成29年度 ～ 春調査・冬調査

調査内容

調査項目	秋冬	春夏	備考
植物調査	○（秋のみ）	○	樹木調査を除く
鳥類調査	○	○	
両生類・は虫類・哺乳類調査	○	○	
魚類調査		○	
昆虫類調査	○（秋のみ）	○	
微気象調査	○	○	

11

Ⅲ 植栽計画について

1) 策定の目的

「常磐公園改修事業基本計画」において示した河川空間整備事業の実施にあたり、生態系調査の結果を踏まえ、将来の樹木の生長を見据えた配置バランスを考慮した植栽によって堤防の緩傾斜化後の緑の景観復元を図ることを目的とし、さらに園内全体も含めた今後の維持管理の考え方を示すため、本植栽計画を策定しました。

2) 策定経過

※ワークショップの様子や議事録は
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/440/449/kouen/p004757.html>
に掲載しています。

- 平成26年度 ～ 常磐公園植栽計画
市民ワークショップ開催（5回開催）
- 平成27年4月 ～ パブリックコメント
- 平成27年6月 ～ 常磐公園植栽計画 策定

12

参考) 常磐公園の緑の計画

常磐公園の 緑の計画 (H24.8)

テーマ：みどりを
守り育てる。

○基本的観点
安全性、快適性、
景観、生態系

次の100年を見据え、
次の時代に向けた樹
木の更新を図っていく。

■樹種の選定に関して

- ① 現況の樹種を土台に北海道や旭川市周辺の環境に適した**多様な郷土樹種**
- ② 四季を通じて楽しむことのできる**花木、紅葉木、常緑樹**など
- ③ 生きものや景観に配慮した多様な樹種
森林としての**寿命のバランス**が上手くとれるような樹種

■樹木の配置に関して

- ④ **密植を避け**植物が生長できる空間が確保できるような配置
- ⑤ **死角や暗がり**ができないような防犯面に配慮した配置
- ⑥ 樹種に合わせた**適正な樹木の間隔**で配置

■樹種の選定、樹木の配置に関して

- ⑦ 花粉、綿毛、日照障害など、**近隣への影響や迷惑**を与えない
- ⑧ 枯れ枝の処理などが困難な高木は、**樹林のアクセント**として配置

13

Ⅲ 植栽計画について

3) 計画内容

全体テーマ

『百年かけて育む、周辺と調和した彩りあふれる空間』

緩斜面化整備について

- ・ 樹種や配植 ～ 巻末【別図1】を参照
- ・ 法面について ～ 在来種種子で吹き付けし、芝地の
ような短い草刈りをしない。

この集いでは具体的な管理の方法やその規定などを検討していきます。

これからの常磐公園の緑について

- ・ 自然更新ゾーンの設定
- ・ ブッシュやビオトープの形成 (巻末【別紙2】)
- ・ 緑の維持管理について
例) 樹木の生長にあわせた管理
下草の管理
植物管理マニュアル (仮称) の作成 etc...
- ・ 市民協働による維持管理

視察
POINT

14

Ⅲ現在の維持・管理

1) 維持・管理

(公財)旭川市公園緑地協会が維持管理を行っています。
具体的なみどりに関する維持管理は芝の刈込み、樹木の
剪定となります。

2) 市民協働（ボランティア）

視察
POINT

- ・常磐公園ガーデンボランティア
常磐公園の花壇を管理（花の
管理や除草）しています。



※詳細は<http://www.asahikawa-park.or.jp/garden-volunteer/> に掲載
しています。

15

Ⅳまとめ

1) 意見交換・発表 現地視察の感想など

- ・現在の常磐公園について
- ・現在の維持管理状況について etc...

意見など

- ・常磐公園に必要な維持管理
- ・緑のために（私が）できること
- ・やってみたいイベント etc...

2) 次回について

- ・開催日のお知らせ
- ・次回までに考えていただきたいこと
- ・やってみたいイベント etc...

16

■植栽平面図（緩傾斜化整備範囲）

【別図1】

項目	樹種
保全木	基調：ハルニレ/ヤチダモ/カツラ/ドロノキ/イタヤカエデ/イチョウ/ヨーロッパアカマツ 添景：【高木】イチイ/エゾヤマザクラ/モミジ類/サワラ/キササゲ/スモモ
移植木	基調：ハルニレ/ヤチダモ/ミズナラ/イタヤカエデ 添景：【高木】イチイ/ナナカマド/ズミ/ヤマグワ/ハシドイ【中木】ツリバナ
更新木	基調：トドマツ/アカエゾマツ/シナノキ/オオバボダイジュ/カシワ/キハダ/オニグルミ 早生：シラカンバ/ヤナギ類 添景：【高木】エゾヤマザクラ/アズキナシ/キタコブシ/ハクウンボク/ミズキ/ヤマモミジ/ ハウチワカエデ/イヌエンジュ【中木】タニウツギ/オオカメノキ/カンボク/ナツハゼ/ マユミ/チシマザクラ【低木】エゾムラサキツツジ/ニシキギ【つる】ツルアジサイ/ イワガラミ/ツルマサキ



植栽イメージ（植栽直後）



植栽イメージ（植栽後20～30年）

※：枯損しているため更新を計画中

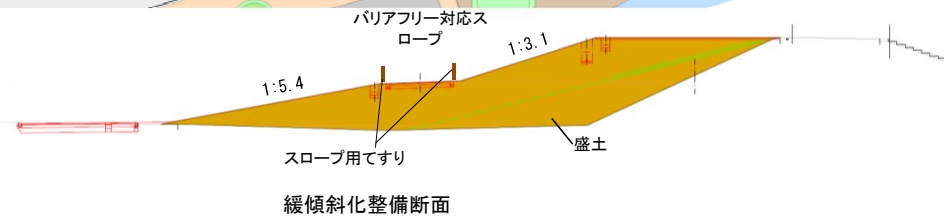
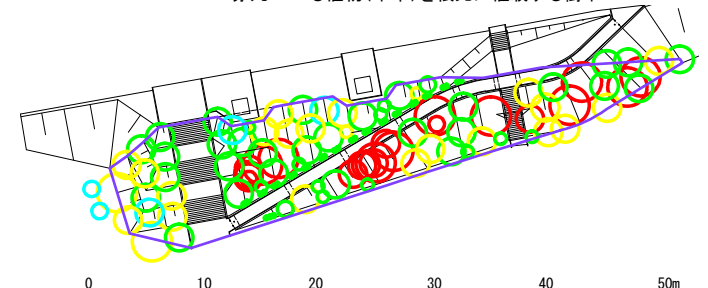


※植栽後20～30年程度経過し、保全木のうち危険木や外来樹種、生長の早い樹種を除去した状況

※樹冠の大きさは、「市街地に設置する公園における植栽設計指針」（札幌市、2006）を参考に設定。

- 常緑樹
- サクラ類・小さい円はツツジ類
- 秋に紅葉する樹種
- 秋に黄葉する樹種
- () 一点鎖線：除去を予定する樹種（早生樹種）
- 破線：更新を予定する樹種（外来種や危険木）
- 赤丸：つる植物（木本）を根元に植栽する樹木

項目	本数（低木は含まず）	
	植栽直後	20-30年後
保全木	21	10
移植木	24	24
更新木	47	42
計	92	76
生育密度	約300本/ha	約240本/ha



緩傾斜化整備断面

参考

ブッシュ・ビオトープ
設置検討箇所



○河川に近い
○人が侵入できない場所
×民家が近い



○水辺に近い(陸続き)
×近くに園路あり
×狭い面積しか確保できない



○河川に近い
○人が侵入しない
(現在立入禁止区域)



○広い面積を確保出来る
○人が侵入しない
(現在立入禁止区域)
×民家が近い
×水辺から独立してしまう



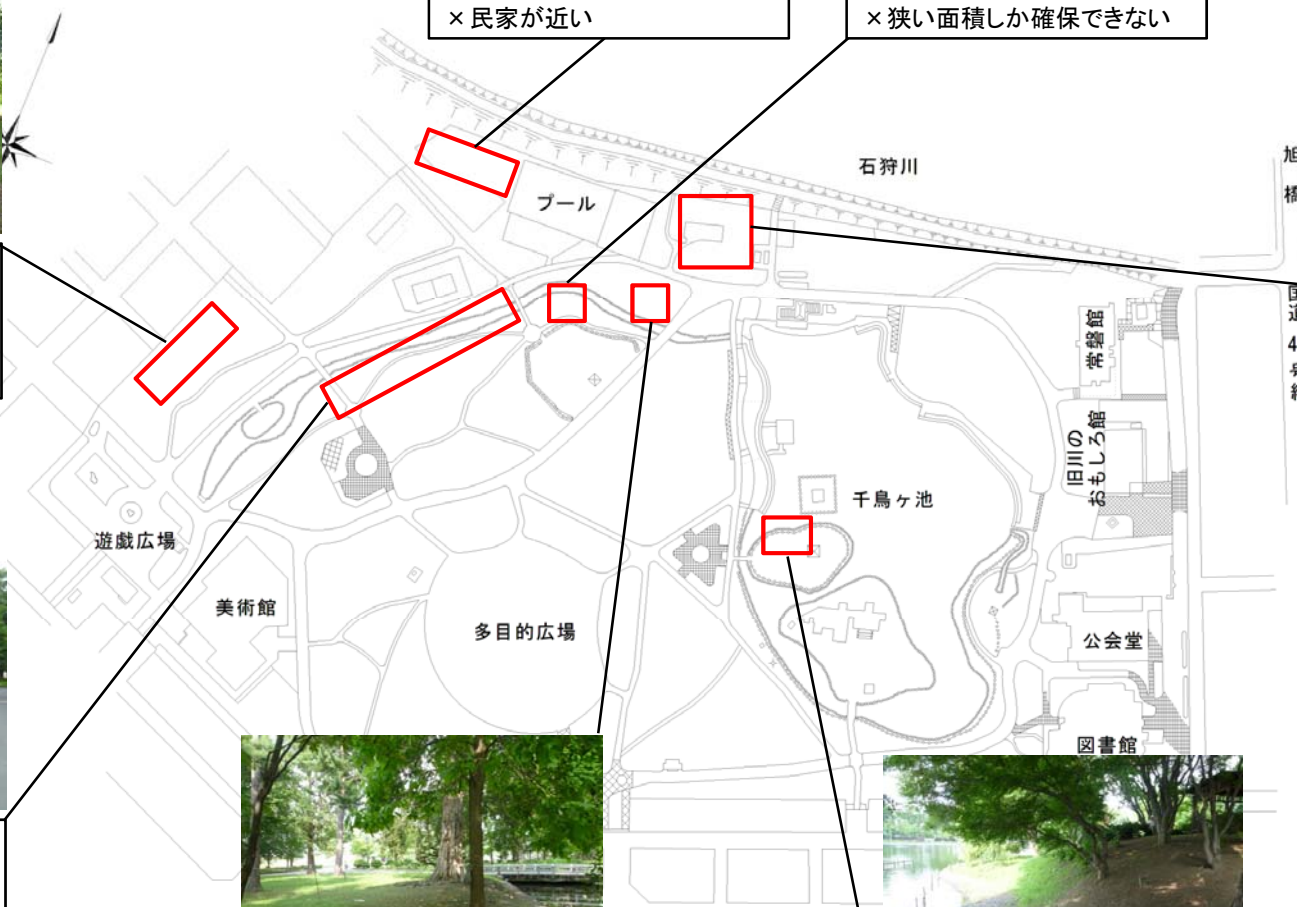
○水辺に近い
×憩いの空間として利用する
場所である



○水辺に近い
○人が侵入しない
(現在立入禁止区域)



○水辺に近い(陸続き)
×憩いの空間として利用する
場所であり面積を確保できない



※検討後、まずは試行的に1箇所を選定し、様子を見ながら拡幅等の検討を進めます。